

地域のコミュニティ再生と自然体験・森林体験を通して子どもの健全育成などを目的に、「うーたの里山林再生」をすすめています。 「うーた」とは、「太田（おおた）」という地名がなまった呼び名です。

### 里山林の保全と更なる再生促進事業

- ①竹林の整備
- ②ホタルが育つ水辺や沢の環境保全
- ③自然観察道の整備と促進

### うーた子どもワールド（づくり）事業

- ①縄文の里山体験
- ②ふくろうの森づくり

主な活動内容

活動のねらい

- ①自然体験による子どもたちの知・徳・体の発達
- ②地域のつながりの促進
- ③森林機能効果再生による地球温暖化防止への効果
- ④生物多様性保全（生き物の生息環境の保全）
- ⑤森林ボランティアの活動の場
- ⑥全世代の学びの場

#### ●竹林の整備と除草作業●



今後は、約1万本の東側真竹林の整備をどのように進めて行くのが課題です。

カブトムシもいるよ！

#### ●ホタルが育つ水辺や沢の環境保全●



今年の夏は、1200匹位のホタルが飛来し、多くの方が鑑賞にきました。

沢には、「カジカ」という魚もいるよ！

#### ●自然観察道の整備と促進●



自然観察道の設置で里山の奥まで、自然観察が出来るようになりました。

#### ●縄文の秋の収穫祭 2011●



うーたの里の自然環境を利用した縄文人の暮らしを体験するイベントです。復元した当時の道具で縄文人になりきって下さい。

うーたの水は豊後の海へそそぐ

乙津川 鴨園川

「うーたの里」を核にした人とのつながり 地域づくり

#### ●ふくろうの森づくり●



小学生達が粘土で作ったふくろうを窯で焼いてから「うーたの里」の「ふくろうの森」に設置しました。

#### ●縄文人と知恵くらべ実験●



国指定史跡「横尾貝塚」の近隣という立地を活かして、縄文時代の暮らしを再現する様々な実験を首都大

学東京と大分市文化財課と協力して行っています。

#### ●大東中学校や大学生の参加●



うーたの里では、周辺の住民だけでなく、明治小・大東中の生徒さんが参加してくれています。大学生もボランティア活動を体験する場として活用しています。

#### ●県政ふれあいトーク●



広瀬知事が「うーたの里」に訪れました。整備の様子や活動の内容をしっかりと見て聞いて頂けました。

#### ●平成24年度メディア情報●

- 4月 OBSラジオ・・・ストップ温暖化
- 5月 OBSトピッカー・・・ホタルの季節到来
- 5月 大分合同新聞・・・縄文活動
- 6月 市報6月号・・・うーたの会の紹介
- 6月 OBSイブニングニュース・・・県内のホタル紹介
- 9月 NHKビデオだより・・・知事との県政トーク
- 9月 TOSニュース・・・縄文のカゴづくり

#### ●生き物の生息環境の保全●



アサギマダラの飛来誘致のためフジバカマを育成しています。2012年には、初めて飛来を確認

しました。また絶滅危惧種の半夏生の群生地として保全を進めています。

うーたの会 検索 今すぐクリック！



「うーたの会」ホームページ



市報6月号記事